

2022年(令和4年)5月12日

(毎週木曜日発行)

東京農業大学

科学的思考による安全

食品安全研究センターを開設

学校法人東京農業大学 (大澤貞寿理事長) は4月1日、食品安全研究センター (FSRC) 五十君静信センター長) を開設した。9日に開設記念講演会を行い、幅広く周



センターの分析機器



五十君静信センター長

知を図った。同研究センターは、同大の産官学協同研究事業である東京農業大学総合研究所研究会の33の部会の一つである「食の安全と安心部会」を前身とし、科学的思考

に基づき食の安全の構築と安心の啓発を、より積極的に行う組織として設立された。食品安全研究センターは、これまで行ってきた情報発信に加え、研究活動、教育と啓発、リスクコミュニケーション、コンプライアンスなどを実施していく。コンセプトは、①安全な食品(食経験と加工技

術)、②危害要因(HACCPの根拠となる科学的知見)、③新たな高機能食品(新規開発食品の安全性評価手法)、④産官学連携(産業界の問題提起、関連食品安全行政、大学の研究活動の連携)、⑤食の安心(科学的

根拠に基づく教育啓発)、⑥研究と教育・啓発(法人傘下の東京情報大学、付属の小中高校と連携したリスクコミュニケーション)の6点。施設は、同大8号館の3階に置かれ、PCR対応の実験室をはじめ、恒温槽、PCR

など食中毒菌などのリスク評価試験が実施できる設備が整えられ、今後さらに必要な設備を整えていく。ポスター名が専従し、試験法作成などに向けた研究活動、共同研究、設備の供与、共同試

験などを行っていく。記念講演会は同センターのビジョンである「食品の安全確保と安心の啓発による持続可能な社会の構築を目指す」をテーマに、食品安全委員会山本茂貴委員長が食品安全の取り組みに関する特別講演を、教育現場での農業の魅力について教育評論家尾木直樹氏が教育講演を行った。大澤理事長、江口文陽東京農業大学学長、鈴木昌治東京情報大学学長が挨拶、五十君センター長が概要説明を行



発足メンバーと講演者

い、堀切功章キッコーマン会長、道野英司森永産学大臣官庁、加地祥文日本食品衛生協会事務理事より祝辞が述べられた。